



概要

連携計画で設定した目標を達成するため、平成21年度から3年間にわたり、バス・乗合タクシーの実証運行や、路線バスと重複するスクールバス路線の統合、新たなバス利用需要を見つけ出すための交通空白地域への延伸や温浴施設への送迎バスの運行、また、路線バスを持続的に運行するためにはみんなで公共交通を支えることが必要なため、バスに対する意識の向上など公共交通の利用促進を図ります。

○デマンド乗合タクシーの運行

公立宇出津総合病院に通院する患者を対象とし、診療後(帰宅)の交通を確保するためのタクシー車両を使ったデマンド運行を実施する。交通空白地域の住民は往復、その他の地域は帰宅のみの運行とする。

○スクールバスを利用したコミュニティバスの運行 ・スクールバスと町営バスの路線統合

路線統合による車両の合理化と、利便性の向上を図る。また、交通空白地域への延伸を図り、バランスの取れた交通体系を目指す。

・特定温浴施設への送迎バスの運行

温浴施設への送迎バスの運行ニーズが多いことから、スクールバスの利用の無い土日祝日に運行する。

○公共交通の利用促進策の実施

・バス応援券(企画切符)の発行

現在はバスを利用しないが将来はバスを必要とする人たちに対して、今ある路線バスを維持していくための「バス応援券」を発行する。

目標

- 目標1 公共交通空白地域の解消を目指します。
- 目標2 町民の公共交通の充足感向上を目指します。
- 目標3 公共交通の利用を促進し、利用者増を目指します。
- 目標4 公共交通を支えるための財政負担の増加を抑えます。
- 目標5 町民みんなで公共交通を支える仕組みづくりを目指します。

